

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
 - 1) 快食・快便・快眠の促進を追求し、専門職としての質を高め、サービスの質の向上を図り、個別ケアプランに反映する。
 - ・安全に美味しく口から食べていただくために、個々のアセスメントを基に食べやすい姿勢を追求する。
 - ・快適な排泄にむけた個々の排泄把握と対応(ブリストルスケールの活用)の取組み
 - ・快眠を意識した環境と支援の取組み
 - 2) 主体的な生活の組み立ての支援を個別支援計画に反映する。
 - ・ご利用者の生活スタイルや生活リズムに沿った支援の取組み
 - 3) 安全な生活を送れるためにリスクマネジメントの取組み
 - ・事故報告、ひやりハット報告から得るリスク要因の検証や感染症等の再発防止への取組み
 - ・自然災害を含めた備えと防犯等に関する対策を実行する。
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
 - 1) 地域の役割づくりにむけて、「10年後,20年後に自身が安心して暮らせる地域にする」ための支援として、専門職からの情報発信ができる場面の設定。(法人事業「安心シニア塾」等の活用)
 - 2) 施設機能を活かして、ワンストップでの相談解決に向ける地域包括ケアの取組み
 - 3) 施設開放として、昼食会や催し物(映画会等)、喫茶室の開放により、地域の居場所づくりを促進する。
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
 - 1)24 時間支援業務を見直し、効率よい業務にむけて常勤・非常勤職員の業務分担や重複業務の整理を進める。
 - 2)心身の健康管理にむけ、心のケアや腰痛防止への取組み
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
 - 1)目標稼働率の達成と無駄のない適正支出に努める。

施設の取組

1. 職員の定着(離職の防止)と働きやすい職場(業務の見直し)
2. 安定した運営に通じる利用実績の安定(入居に至るまでの効率化)
3. リスク管理の具体化(気づき、検証、対策、見直し)
4. 環境整備(設備等改修計画の策定と実行)
 - ・入浴設備(特浴槽・リフト浴)の更新
5. 総合事業の理解と新たな事業展開